

# 平和学習についてのご案内

## 聖コルベ記念館

聖母の騎士学園と同じ敷地内に、聖コルベ記念館（資料室）があります。

ここには年間 6,000 人ほどの見学者が来館されますが、そのうち半数は『平和学習』をおこなう児童・生徒・学生たちです。

コルベ神父は東ヨーロッパの国、ポーランドの宣教師で、昭和の初めに長崎市へ来て、本河内に聖母の騎士学園の前身である学校を設立しました。6年間、長崎で生活した後、ポーランドへ帰国しましたが、やがて戦争に巻き込まれ、強制収容所『アウシュビッツ』へ入れられました。

そこで、失望した人々や悲しむ人を助け、慰め、励まし、収容所に生きる希望と勇気を与えました。そして昭和16年、収容所の中で、死刑を言い渡された1人の父親の身代わりを申し出て、餓死の地下室で、愛のために命を捧げました。コルベ神父の生き様を学ぶため、1981年にはヨハネ・パウロⅡ世教皇が、そして翌年にはマザー・テレサも来館されています。

コルベ神父は、教皇ヨハネ・パウロ2世から『聖人』の位に上げられ、聖コルベ記念館（資料室）が建てられました。館内にはコルベ神父の居室や遺品が展示されています。被爆者の修道士が案内しています。



コルベ神父の生き方は、敵をも許す『温かい心』、困難が訪れても『逃げない勇気』、皆を『助け、支える心』、更には『いのち』の尊さ、大切さを教え、平和の原点は『人間の痛みを分かる心を持つ』ことであると示しています。

また、敷地内に併設されている教会やルルドと呼ばれる洞窟のマリア像の見学もできます。

長崎市内の公立中学校の生徒も見学し、平和を学んでいます。貴校でも、ぜひご検討ください。

※来館の際には、事前に右記までご連絡ください。

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】無料

【休館日】無休

【交通手段】県営バス 番所バス停から徒歩5分  
蛸茶屋電停から徒歩10分

お問い合わせ

〒850-0012

長崎市本河内2丁目2番1号

聖コルベ記念館

TEL 095-825-2075

095-824-2079